

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第148号

平成31年1月10日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

工作をとおして科学を楽しもう

亥年になり、関東では穏やかな日々が続いております。今回の協議会ニュースでは、科学工作を通じて科学の面白さを感じてもらい、科学への興味関心を深めることを目的とした講座について報告します。

エノコログサ(事務局撮影)



① ものづくり体験教室



ゴム CAR で競走しよう！ 10月13日(土)

この講座は、事務局が厚木に移転する前に、横浜紅葉ヶ丘で開催した最後の講座となりました。ゴムを動力として動く原理の学習からスタートです。

タイヤの作成では、コンパスの使い方を覚えめました。コンパスで書いた円を正確にはさみで切る作業では、きれいに切断できず、皆苦労していました。

工作の終盤では保護者の方も応援に入ってください、親子でゴムCARを楽しんでもらいました。最後に完成したゴムCARの走行距離を競いました。



クリスマスリースを作ろう 12月18日(土)

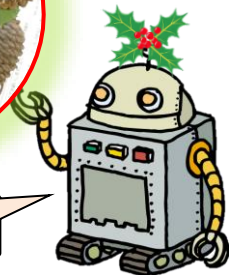
始めに、ある3つの島のお話から、樹木の特徴について学びました。続いて、リースの材料を紹介したクリスマスカードの工作を行いました。

グルーガンの使い方説明の後、リース土台となる「つる」を選び、ナンテンの赤い実、ヒイラギモクセイの葉、5種類の木の実からリースの材料を選びました。

頭の中でどのようなリースにするかイメージを働かせます。選んだ材料をリース土台に飾る位置が決まったら、グルーガンを慎重に扱いながら材料を固定しました。



完成!



子ども達が作ったクリスマスリース！
「世界で一つだけ」の素敵なリースです！

クリスマスキャンドルを作ろう 12月23日(日・祝)

緑色のクレヨン混ぜ、材料となるロウを融かしている間に、キャンドルの歴史や性質等を「高校生科学ボランティア」が紙芝居風に説明してくれました。

ロウが融けたら、クッキングペーパーで作った箱に流し込み、星形の型抜きをしました。キャンドルの骨格部分となる大きさの異なる4枚の星型ができました。

星形の緑色のロウの間に雪に見立てた白いふわふわのロウを挟み、カラフルなトッピングを加えクリスマスツリーの形にしていると、クリスマスキャンドルの完成です！



② 移動科学教室

ペットボトル空気砲を作ろう 12月9日(日)

大和市の文化創造拠点シリウスの1室を借りて空気砲の工作を行いました。冬曇りの寒い朝でしたが、施設にはすでに多くの方々が来場しており、順番を待つ列ができました。

イベント開始と同時に参加者がペットボトル空気砲を作りに来てくれました。風船の丸くなっている部分を切ったり、風船の口を結んで引っ張りやすくしたりするなどの作業に苦戦していました。

切った風船を、切ったペットボトルにかぶせ、ビニールテープでとめます。ボンボンとペットボトルをタコ糸で結び付け、ペットボトルの口にボンボンを詰め、空気砲の完成です！



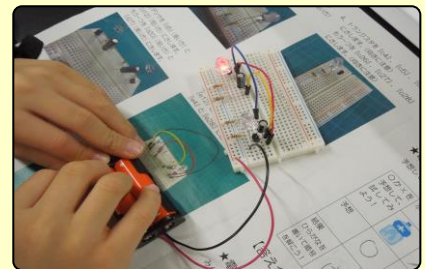
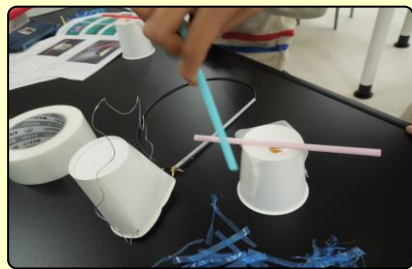
③ 子ども科学講座

作って体感！ 電気のふしぎ 1月6日(日)

講座の初めに電気についての質問をすると、元氣よく手を挙げて答えてくれました。電気が流れるか流れないかを調べながらなぜ解きを行いました。

静電気の性質を調べるために、ストロー検電器を作りました。小学生には少し難しい内容でしたが、なぜ解きなどの遊びの要素を取り入れました。

ブレッドボードを用いて、信号機の振り子回路を作りました。この講座を通じて電気の性質について学び、また、工作物で遊び楽しんでもらえました。



事務局から



事務局 H30.10 月、厚木に移転

完成!

今号は、事務局による科学工作を中心とした講座を特集しました。自分の手作りの品は、世界中でたった一つの作品です。出来ばえはさておき(?)、本人にとってとても価値ある一品ものとなります。右の写真は「クリスマスキャンドルを作ろう」での、参加者の作品です(本体部分の高さ5cmほど)。家に持って帰るまでに壊れないよう、大事にティッシュにくるんでいる子ども達の姿が見られました。(事務局：村上、高相、山田、宮城)

